

新築工事

施

事書

日

日

<https://www.sekouya.com>

1. 一般事項

1) 総則

a. 適用範圍

この施工要領書は **新築工事**のうち、雑金物工事の施工に適用する。

b. 適用図書

- ・設計図書
- ・特記仕様書
- ・現場説明事項・質疑回答
- ・公共建築工事標準仕様書
- ・公共建築改修工事標準仕様書

（平成部繕 年度版）

庁営繕部平成 年度版)

C. 協議

材料についてはあらかじめ見
この施工要領書の内容につ
問題が生じる場合は、係員が
承諾を得るものとする。
、または記載外の事項で重要と思われる
の上、承諾を得て施工する。

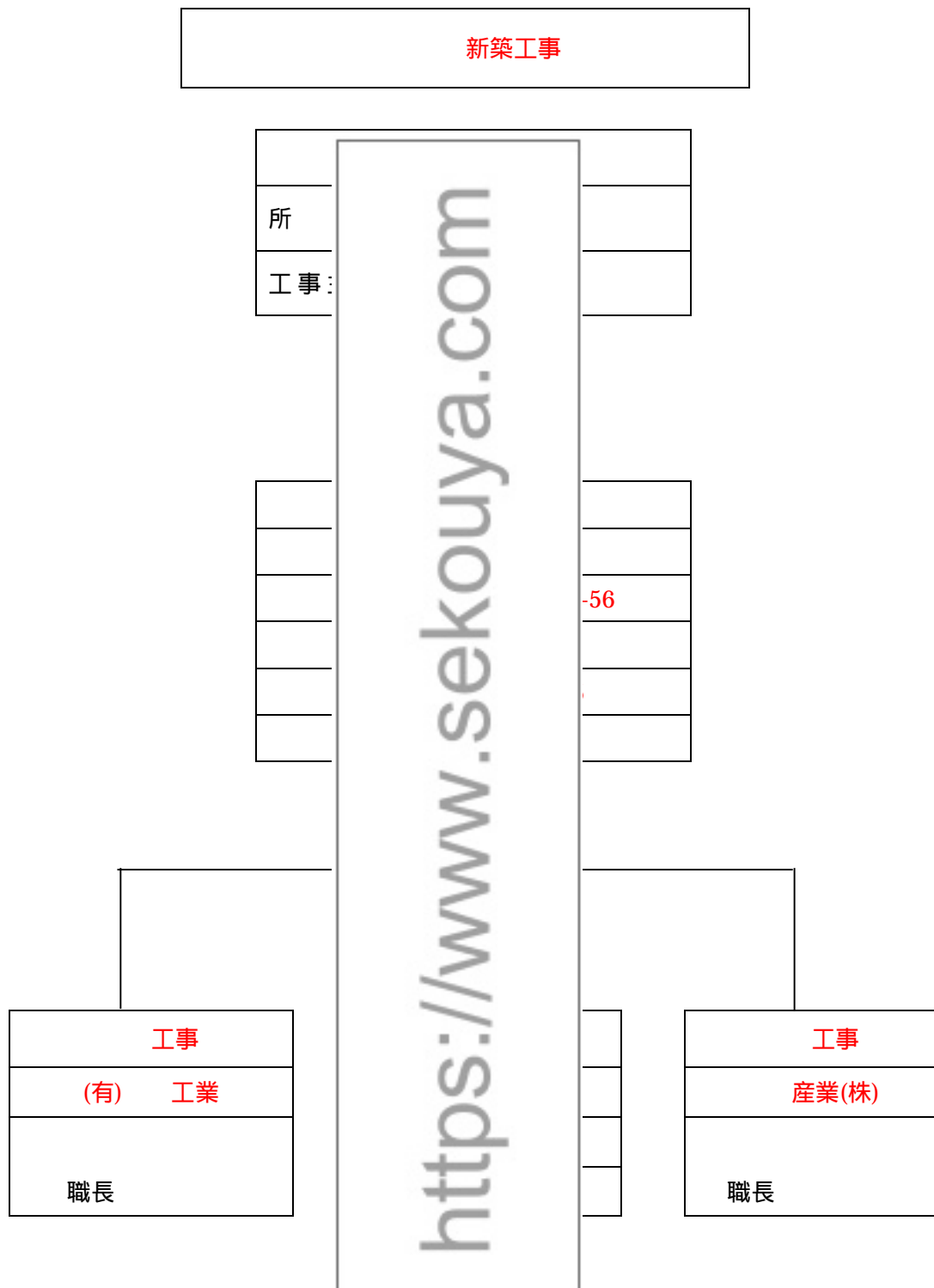
d. 関係者への周知

この施工要領書の内容および関係業者全員に周知徹底を	ング等により、行き違いのないように関
---------------------------	--------------------

2) 工事概要

工 事 名 称	新	https://www.sdpjy	
工 事 場 所	県		
発 注 者			
設 計 監 理	株式会社		
総 合 施 工	建設株		
全 体 工 期	平成 22 年		年 月 日

3) 施工体制



4) 予定工期

納品のみ 平成 年 月 日 ~ 年 月 日

取付け工事 平成 年 月 日 ~ 年 月 日

取付け予定	5 月	6 月
カーテンレール		
郵便受		

<https://www.sekouya.com>

2 . 材 料

1) 使用材料一覧

名 称	メーカー	種 別・型 式	施工数量
アルミ笠木	https://www.sekouya.com		
エキスパンション金物			
トイレ・洗面手摺り			
タオル掛け			
カーテンレール			
ブラインド			
面格子			
ノンスリップ金物			
郵便受け			
物干し金物			
傘立て			

2) 材料の搬入

- a . 材料は搬入時に担当者が立会い、材料の点検と数量の照合をし、間違いや不足のないようにチェックする。
- b . 搬入した材料は梱包などを解き、材料の点検と数量の照合をし、間違いや不足のないようにチェックする。など、取付前に係員の確認を受ける。
- c . 原則として、材料はあらかじめ現場に搬入し養生・保管する。
- d . 小物については、取付当日にその都度、作業員が持ち込むものとする。
- e . 材料検査は外観・曲がり・キズ等のチェックを十分に行う。

3. 施 工

1) 使用工具

名 称	規 格	仕 様・型 式
高速カッター	100V	
ベビーサンダー		
電気ドリル		

2) 工事着手前の確認

- a. 元請け係員との連絡打合せ
作業所とよく連絡を取り、取
べ、原則として製品は事前
また、製品を取付けるため
とする。
- b. 仮設電源の確認
100V 電源は各作業場所から
- c. 材料置き場の確認
- d. 下地胴縁等の確認・・・
- e. 基準墨の有無の確認・・・

ンカーの点検やスミ出しの状態をよく調
い場所に保管して盗難などにも注意する。
下地工事の施工時に取り付けてあるもの

るものとする。

パッチの確認

その他基準になるもの。

3) 現場取付け要領

- a. 取付けは施工業者の責任施工とする。
- b. 取付位置の確認
 - ・ 設計図または施工図に記載されている場合はそれに従う。
 - ・ 記載がない場合は取付箇所、取付位置、取付け高さなど係員と打合せを行い、書面で指示を受ける。

c . 取付け時には下記の点についての確認をする。

取付位置	芯墨、逃げ墨、基準になる床、柱、天井、サッシなど
水平、垂直	レベル、水平器、下げ振り等による。
通り	… 目視、水系等による。

4) 養生調整

- a . 取付に際して製品にキズ、傷を付けないように養生する。
- d . 工事中の汚れ等については、清掃をする。
- e . 養生ビニールのはがしは、取付作業との兼ね合いにより実施する。
- f . ステンレスおよび鏡面品は現場作業以外とする。

傷を与えないように養生する。
清掃をする。
取付作業との兼ね合いにより実施する。
、クリーニング等は元請会社が行い当社

<https://www.sekouya.com>

8. 安全衛生

1) 基本事項

- a. 労働安全衛生法および作業所で定めた安全衛生に関する諸規則を守り、その上で作業することを前提とする。
- b. 工事着手前に作業員名簿その他必要書類を提出し、乗込時に新規入場者教育を受ける。
また、変更があった場合は通知を受ける。
- c. 作業に適した服装で仕事を行う。
- d. 特別に設けられた区域を除き、立ち入り禁止区域に入らない。

2) 現場での安全

- a. 朝礼に出席できるように時間を守る。
- b. 新規入場者教育を受けて、現場に入る。
- c. 元請け係員の指導により危険な作業を行わない。
- d. 当日行う作業について事務所で確認を受ける。
- e. 器具や電動工具など、始業前点検を行い、異常があればその工具は修理が終わるまで使わない。
- f. 脚立使用時、天板での作業は禁止する。
- g. 高さ2 m以上の高所では安全帯を着用する。
- h. 脚立足場を使用するときは、必ず手すりや足場板をしっかりと握る。
- i. 作業中のくわえタバコ、おタバコを吸わない。「喫煙所」等定められた場所で喫煙する。
- j. 梱包材や養生材は最少限度で使用する。
- k. 残材や発生材は指定場所に分別して積み上げる。
- l. 作業終了時には後片付けを徹底する。
- m. 作業終了後、帰るときは事務所で当日以降の打合せも行う。